

～2月6日（木）に学校保健委員会がありました～

令和7年2月21日

岡山県立岡山東支援学校 保健室

保護者代表の方、学校医・学校歯科医の先生方、学校薬剤師の先生、本校教職員が出席し、子どもたちの健康と安全について、報告や話し合いをしました。学校医の先生方との質疑応答の内容について、一部ですがお伝えをしますので、参考にさせていただけたらと思います。

★医薬品の不足について



- ・医薬品の不足状況は横ばいのまま続いている。
種類によって不足状況が改善されたり、悪くなったりしている。花粉症や乾燥の時期になると、その薬が不足していく。
- ・医薬品全体の30%が出荷調整されており、常時服薬しているものうち何種類かは不足しているかもしれないため、早めの受診をお願いしたい。

★乳歯を抜く時期について

- ・もともと永久歯が部分的にない人もいるため、必ずしも永久歯が生えたからといって乳歯を抜かないといけないわけではない。
- ・乳歯がグラグラして食事や睡眠をとれず、生活に支障が出る時に、抜くことが多い。
- ・乳歯と永久歯が同時に生えていても問題ない箇所もあるため、受診して相談してほしい。



★ヒートショックについて

- ・ヒートショックはなった時にどうするかではなく、ならないために予防することが大切！意識がなくなったり、いつもと反応が異なったりする場合は救急搬送や受診を考える。
- ・暖房を入れて、浴室を温かくする。予備力は個人差があるため一概にはいえないが、18℃を保つことを意識する。



学校医・学校薬剤師の先生から

花田先生（小児科）

はしかの感染が岡山でも確認されているため、気を付けてほしい。インフル・コロナは予防接種をすると発症しないわけではないが、症状に差がでている傾向である。

手島先生（耳鼻科）

今年は花粉が多いと言われている。1月から毎日の最高気温を足していき、400度になると花粉が飛び出すと言われているため、2月中旬頃から気をつけてほしい。

横山先生（精神科）

頓服を使用し、日常生活を落ち着いて送れるようになるのはいいと考えるが、服薬した時の環境や支援、本人の様子をぜひ主治医に伝えてほしい。

沼本先生（歯科）

日常用の歯ブラシは本人が噛んで先が折がってしまうため、家庭では、仕上げ磨き用の歯ブラシを準備するとより効果的である。仕上げ磨き用は先が小さく、柄が長いものが扱いやすくてオススメである。

杉原先生（眼科）

流行性角結膜炎が季節を問わずかかる人が増えている。感染力が強いので、手洗いをしっかりしてほしい。
花粉症の症状が毎年ある人は、早めの受診がよい。

西宮先生（薬剤師）

選定療養制度が2024年10月から始まっていて、今までと薬が変わらないのに窓口で払うお金が変わることがある。不明なことは、薬剤師に相談してもらったらよい。